

科目	空港論	担当	神谷 仁	履修学年	3年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

航空会社が2020年までに目指す空港の近未来像を理解する。併せてセントレアの2020年の未来像を、現地研修も行いながら理解する。セントレア幹部との意見交換を行い、地元との連携も含め、空港運営の世界の流れと日本の空港の現況を理解する。

【履修注意】

パワーポイントによる映像を使用する。教材はインターネット上に公開されている、IATA・SKYTRAX・Passenger Terminal Expo2018等のホームページを使用する。殆どが英語なので、必要な部分は中部国際空港(株)の訳文を使用する。

【評価方法】

筆記試験:50% 受講態度、中部国際空港見学に於ける積極性など総合評価50%

【試験について】

最終講義での筆記試験

再試験対象者の条件:再試験は実施しない

【予習・復習】

中部国際空港株式会社のホームページを可能な限り事前に読み込むこと。

HP(www.centrair.jp/)に対する提言も評価の対象とする。

【教科書】

使用しない

【参考書】

当日印刷した資料を配布する

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	オリエンテーション	講義の進め方、評価についての説明
2	中部国際空港の現状その1	2017年度の中部国際空港の概況
3	中部国際空港の現状その2	顧客満足度向上への取組とその成果
4	中部国際空港ホームページ分析	実際の空港ホームページを見ながら、ワークショップ
5	空港の2020年の姿その1	航空会社が目指すもの
6	空港の2020年の姿その2	航空会社の目指す空港の在り方
7	空港ターミナルエキスポその1	過去数年間にわたり開催されたエキスポの概況
8	空港ターミナルエキスポその2	同上
9	中部国際空港見学その1	空港見学行程表(別途調整)参照
10	中部国際空港見学その2	同上
11	中部国際空港見学その3	同上
12	中部国際空港との質疑応答	同上
13	空港未来像の検証	2020年までに実現する空港運用論の検証
14	空港運営に於ける世界との差	日本の航空業界の現状の理解
15	自分の理解する空港近未来像	ワークショップ形式で「空港近未来像」を討論発表する
16	期末試験	15コマの復習・確認・総まとめ